

個別事業(取組)評価				
事業No.	37	施策の柱への位置付け	柱⑤ 放課後改革	
事業名称	子どもの生活リズム向上推進事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	3,180
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	3,180

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 就寝時刻や睡眠時間については望ましい生活リズムが未定着である。 ◆ 家庭学習時間が30分未満の児童生徒は、小中学校とも全国平均より高い割合である。 【要因】 ◆ 子どもの基本的な生活習慣の確立を、学校に頼っている家庭が多い状況がある。 ◆ 家庭での学習習慣が定着しておらず、その解決に向けた学校と家庭の連携が不十分である。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 平成21年度の学力・学習状況調査結果により現状把握をしているため、数値的には正確に把握している。
		イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 平成21年度に策定した高知県教育振興基本計画で分析を行っている。	
②	目標(Outcome)	◆ 「こうち家族強調月間」において、生活リズムの改善に親子または子ども自身が積極的に取り組む体制をつくる。 ◇ 「生活リズムチェックカード」に関する目標数値 ・点検実施率 保育所・幼稚園 80% 小学校 80% 中学校 80% ・点検者数 延べ30,000人 ・認定証授与率 40% ※朝食摂取率で小学校95%以上、中学校90%以上(平成25年度目標)を目指す。 ※学校の授業時間以外の学習時間の増加(平日) 「30分以上勉強している」 【小学校】85%以上(H21は81.9%) 【中学校】80%以上(H21は78.9%) 【検証(比較)方法】 ◆ 生涯学習課への提出数の集計 ◆ 委託契約数及び事業報告書	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 現状において、状況改善のために必要な数値目標を設定している。 エ 目標は達成されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>) ◆ チェックカード点検実施率 保育所・幼稚園 48% (312園中150園所提出) 小学校 73% (226校中166校提出) 中学校 43% (117校中50校提出) ・提出者数 延べ23,300人 (9月:9,837人 11月:6,940人 1月:6,523人) ・認定証授与率 49% ※ 朝食摂取率 【小学校】87.4% (H21 88.2%) 【中学校】81.0% (H21 80.0%) * H22年度は抽出による調査 ※ 「30分以上勉強している」子どもの割合 【小学校】86.3% (H21:81.9%) 【中学校】80.2% (H21:78.9%)
		オ 計画通り実施されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>) ◆ 保護者向けリーフレットを配付 保育所・幼稚園 9月配付 小中学校 7月配付 ◆ チェックカードによる点検、カード提出者へ認定証・がんばり賞の交付 ◆ 家庭学習推進事業を30PTAに委託 安芸地区:3PTA 香美・香南地区:2PTA 高知市:4PTA 土長南国地区:1PTA 吾川地区:3PTA 高岡地区:13地区 幡多地区:4PTA ◆ 就学前の子どもを持つ保護者に対して、幼保支援課と連携した啓発活動を行うことはできなかったが、幼稚園PTA連合体や保育所保護者会と協力し取り組むことができた。	
総合評価と今後の方向	目標達成度 C 「No」を選択した項目 エ、オ	【今後の方向】 ◆ この取組は学力向上をはじめとする子どもの状況改善に必要な不可欠なものである。朝食の摂取や学習時間の増加など、実際に生活リズムを改善するには一定の時間を要すると考えられ、長期的に取り組む必要がある。 ◆ 本事業は平成22年度で終了するが、次年度より「早ね早おき朝ごはん」推進事業に移行して、PTAへの啓発など継続して取り組んでいく。	
	【総合評価】 児童生徒の生活リズムの向上と家庭学習習慣の定着について、PTAと協働して取り組むことにより、徐々にではあるが生活改善の傾向がみられる。		